

**文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会
世界文化遺産特別委員会（第4回）
議事要旨**

1. 日時 平成 25 年 11 月 13 日（水） 14:00～15:30
2. 場所 中央合同庁舎第 7 号館 旧文部省庁舎（文化庁） 2 階第 2 会議室
3. 出席者 （委員） 西村幸夫委員長、稲葉信子委員長代理
岡田保良委員、小浦久子委員、小風秀雅委員、
五味文彦委員、佐藤信委員、清水憲一委員、
中村俊郎委員、藤原恵洋委員、
内田篤呉委員（部会委員/オブザーバー出席）
神崎宣武委員（部会委員/オブザーバー出席）
（文化庁） 青柳長官、河村次長、山下文化財部長、
大和文化財鑑査官、榎本記念物課長、
北山世界文化遺産室長、本中記念物課主任文化財調査官
西記念物課文化財調査官、その他関係官

4. 議事要旨

世界文化遺産特別委員会の議事開始にあたり、本会の審議が世界遺産一覧表への推薦候補に関する調査であることから、会議は非公開で行うこととし、後日、議事要旨を公開することとした（「文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会の会議の公開について」 8）による。

（1）平成 25 年度世界文化遺産推薦候補の決定について

文化庁から「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が我が国としての本年度の推薦候補と決定されたことが報告された。

（2）「富岡製糸場と絹産業遺産群」について

「富岡製糸場と絹産業遺産群」について、イコモス現地調査が実施されたこと、また、イコモスから追加情報の要請があり、資料を提出したことについて文化庁から報告があった後、質疑応答及び意見交換が行われた。その中で、①現地調査に派遣されるイコモス調査員の選出について、②イコモスからの追加情報要請に対する回答内容について、質疑と意見交換があった。

（3）その他

「奈良文書」が採択されてから来年度で 20 周年となるため、これを記念するとともに、同文書の新たなあり方を考える国際会合を平成 26 年度に開催予定であることに、文化庁から報告された。